

プロジェクトM : まちの魅力を見つけ出せ!

レポート02 : 自然遺産・文化遺産をめぐるコースを考えよう!

02

石狩の自然遺産・文化遺産を再発見し、それらを活用する博物館のあり方を考える「プロジェクトM」。第2回は、「押しM(博物館)」紹介、エコミュージアムとは、の説明の後、2チームに分かれて、それぞれ“遺産めぐりコース”を考えました。

◎第2回のミッション:

“遺産めぐりコース”を考えよ!

- ①コースのテーマを決める
- ②テーマに合致する遺産を選ぶ
- ③ストーリーをつくる(コースを決める)

◎わたしの“押しM”紹介!

～ベルリン民族学博物館～

◎エコミュージアムって、なんだ?

★今回の成果は、裏面に!

今回も、地図をつなげるところからスタート!

“押しM”紹介。気分はベルリン!

折り紙のクジ引きでチーム分け。→クマさんチームvsサケさんチーム!

「プロジェクトM:まちの魅力を見つけ出せ!」って?

石狩の自然遺産・文化遺産を、

- ・学ぶ
- ・発見する
- ・大勢に知ってもらい、未来に残していく方法を、みんなで考える

ための、集まりです。
3月まで毎月1回、全5回を予定しています。

自然遺産・文化遺産ってなに?

石狩市の自然や文化、歴史を知り、未来に残すための有形・無形のものです。資料や標本など博物館に収蔵するものから、建築・遺跡・植生・地形など野外にあるもの、舞踊や食文化などの民俗・文化まで、さまざまです。

プロジェクトMのミッション(任務)は?

- ・石狩の自然遺産・文化遺産マップをつくれ!
- ・遺産をつなぐ博物館をつくれ!

この2つが最終回までの我々の任務だ!

こちら、クマさんチーム。ゆったり、和やかに話し合い。

サケさんチームは、スタンディングで熱いギロン。

◎わたしの“押しM”紹介！

～ベルリン民族学博物館～

どこの街でも、まちの魅力を紹介する役割を担う、博物館。PMメンバーが、これまで行った博物館の中から、お気に入りの1館をみんなに紹介！

今回は、荒山学芸員がドイツのベルリン民族学博物館を紹介しました。以前に参加した学会の会場として訪れたそうです。19～20世紀ごろ、世界各地からベルリンに持ち込まれた文化資料が無数に展示されています。とっても広い博物館で、1日ではまわれないほど。休憩場所もたくさんあるそうです。

中でも荒山さんのオススメが、館内のレストラン。民族学博物館だけあって、世界各国の民族料理を食べることができる！ 変な日本食らしきものもあったそうです。

◎エコミュージアムって、なんだ？

プロジェクトMのキーワードと言えるのが「エコミュージアム」。それって、なんだ？ 地球に優しい博物館？ う～ん、違う、とは言わないけど…。志賀学芸員が、勉強したことを紹介してみました。

「エコミューゼ」。1960年代、フランスの博物館学者が言い出した言葉。ある地域の史跡、建築、自然などを未来に残すべき「遺産」ととらえて、その地域全体を“屋根のない博物館”とする、という考え方です。その英語が「エコミュージアム」。

エコは何も二酸化炭素を減らすことだけじゃなく、語源としては「家」「生活」「環境」を示す言葉。ミュージアム(博物館)と言っても、きれい・めずらしい・古い・モノが飾ってあるだけじゃなくて、“自分たちの街の、身近な自然や文化をひっくるめて、ぜ～んぶ博物館なんだよ”。それが、エコミュージアムです。

具体的には、ある地域(石狩)の各地に点在する自然遺産・文化遺産や展示施設(これらを「サテライト：衛星」と呼びます)と、資料や標本の収集・保管、調査研究、学習の中心の場となる博物館(「コア：中核」と呼びます)、そしてそれらをつなぐ道(トレイル)でできた、大きなネットワークなのです。

◎“遺跡めぐりコース”を考えよ！

まずはチーム分け。1人ずつ小袋を引いていくと、中にはクマかサケ、どちらかの折り紙が1つ。それをもとに、クマさんチームとサケさんチームに分かれました。対決！ではありませんが、各チームでモデルコースを1つずつ、付箋と模造紙を使って考えました。

■クマさんチーム

フラッと食べ歩きコース

クマさんチーム、テーマは、あつという間に「食べ物」で決定！石狩・厚田・浜益の朝市から、有名食事どころ、知る人ぞ知る隠れたウマイものを、めぐるコースです。

スタンプラリー方式で、石狩鍋や寿司から、果物、ルッツまで食べ歩き、各地の資料館も忘れず見学。最後は温泉！でも、このモデルコースに挙げただけで18食。食べ切るのに何日かかる？



クマさんチームのモデルコース案。鍋、寿司、海産物、お菓子など、食べ物の付箋がいっぱい！

■サケさんチーム

石狩の秘境めぐりコース／農業史跡編

こちらはテーマの決定から熱い議論が。「石狩川をめぐる物語コース」「海岸線をめぐるロングトレイル」など、落選したコースも興味深い！でも農業に関係した史跡が多くリストアップされ、このテーマに決定。

花畔銭函運河、砂地水田発祥の地、生振揚水ポンプ、町村農場跡、伊達藩開拓碑、浜益最初のリンゴ園、と、マニアックな(だから秘境!)ポイントをめぐるコースです。



サケさんチームのモデルコース案。廃校、缶詰工場や油田跡、神社、武四郎など、歴男・歴女？好み。松浦

いしかり砂丘の風資料館

(石狩市教育委員会生涯学習部文化財課)

TEL/FAX: 0133-62-3711

http://www.city.ishikari.hokkaido.jp

